

軽音楽部マガジン

発行：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 配布：全国 2,140 校の高等学校軽音楽部

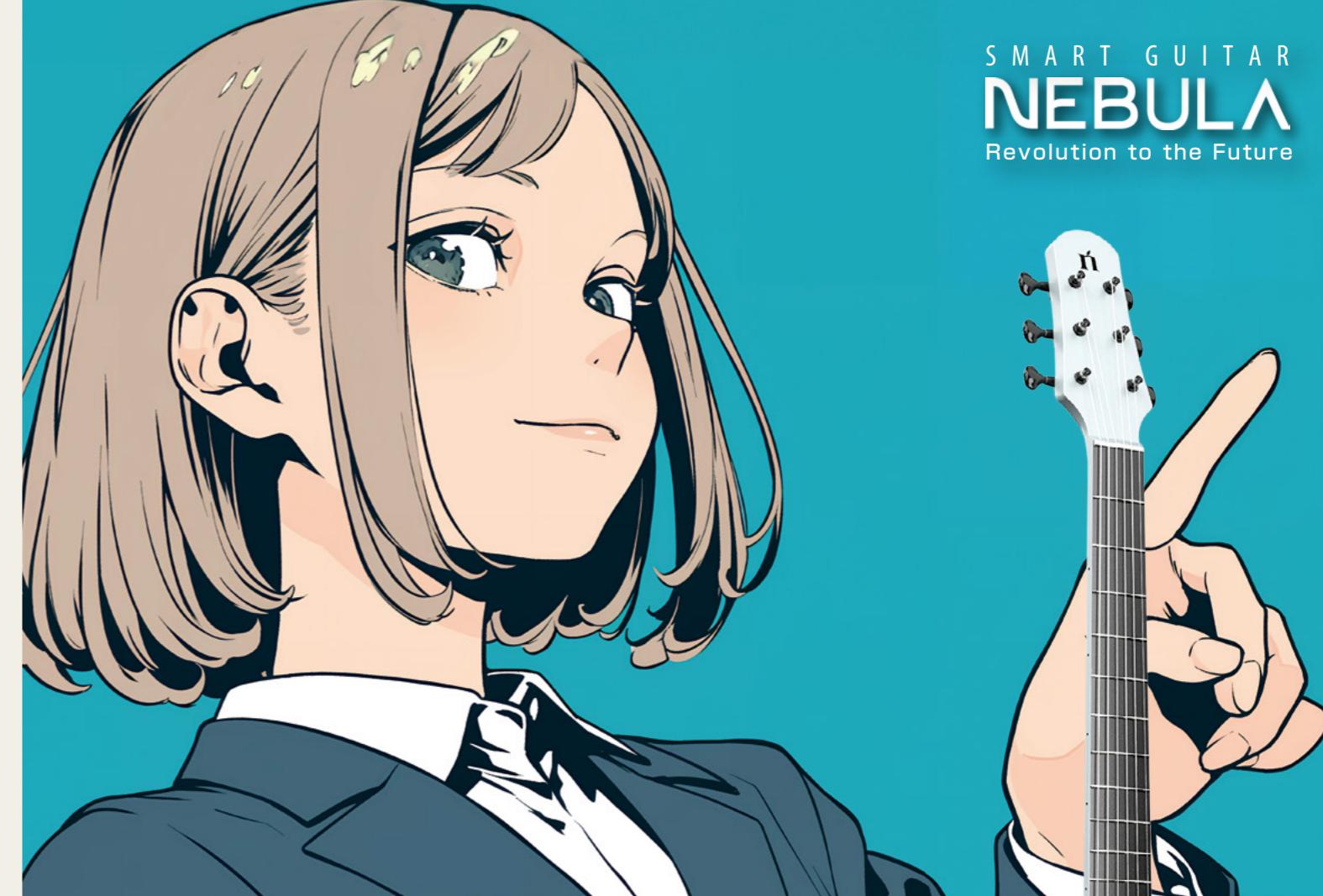


軽音楽部の革新をデジタル化で考える

いつでもどこでもできる
個人スキルの基礎力アップ



軽音楽部マガジン
バックナンバー



ヘッドフォンで演奏が楽しめる スピーカー、エフェクト内蔵の SMARTなギター

アンプへの接続はもちろん、ヘッドフォン端子やスピーカーを内蔵。軽くて丈夫なカーボンファイバーを本体に採用し、多彩な音作りを実現するエフェクターやチューナー、メトロノーム、ルーパーを搭載。いつでもどこでも「弾きたい！」と思った瞬間に演奏できる、スマートなギターです。

- 1 スピーカー搭載で、面倒な準備をスキップ
- 2 ヘッドフォンを接続すれば、夜間の演奏も◎
- 3 ワンタッチでエフェクトが切り替わる
- 4 豊富なエフェクト群を自由にカスタマイズ
- 5 演奏をサポートしてくれる様々な便利機能
- 6 USB Type-C 対応でギターの録音が簡単に
- 7 高温多湿に強く、軽量なカーボン素材
- 8 丈夫で使いやすい高機能なギグバッグ付属

定価：77,000 円（税込）
高機能ギグバッグ付属



nebulaguitar.jp

全国約4,800校の 高校に軽音楽部を!

※現在、軽音楽部があるのは2,140校です（令和7年6月1日当協会調べ）

軽音楽部の諸活動を通して若者の成長を応援しています

1 軽音楽部の正しい理解を

軽音楽部は部活動としての歴史が浅く、ポピュラーミュージックやバンドへの偏見も一部に残っており、正しく理解されていないのが実状です。STEAM教育の一端として、軽音楽を通した部活動の有意義さや得られるものなどを学校内外へ広めていきます。

2 軽音楽部の全国普及に向けて

学校教育の一環である部活動のひとつとして、軽音楽部が全国の学校に設立されることを目指し、日々の練習や演奏会のサポート、楽器や機材の相談、各種クリニックや大会の開催など、諸活動をバックアップしていきます。

3 新しい活動の提案と支援

デジタル化、IoT化による現代的な楽器や機材、DTMの普及による新しい軽音楽のスタイルなど、今と未来に見合った活動を各業界とのパイプ役として軽音楽部に提案、支援しつつ、軽音楽のポップカルチャーとしての発展を目指します。

当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご寄付をお待ちしております
詳しくはこちらまで…



特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク	ギブソン・ブランズ・ジャパン株式会社
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	フェンダーミュージック株式会社
一般社団法人サトヤマカイギ	有限会社エムエージー
名古屋芸術大学	株式会社トップトラベルサービス
宝塚大学	株式会社福々家（モアリゾート、ホテル寺尾温泉）
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校	有限会社ユイネ（音楽ロッヂ ゆうげん荘）
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社オーティーズ
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社サウンドハウス
専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社池部楽器店
名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校	

軽音楽部マガジン

令和7年12月号 VOL.89

■軽音楽部マガジン VOL.89 ■創刊：平成25年12月18日（水）■第14巻7号通巻89号
■監修・発行／特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校軽音楽部協会 JASLMC (Japan Association of School Light Music Club)
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405 TEL: 045-913-0901 FAX: 045-913-1900 E-Mail: info@keionkyo.org
■企画・編集／株式会社ミュージックネットワーク

部活動を考える

軽音楽部の革新をデジタル化で考える 4

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長 三谷佳之

いつでもどこでもできる
個人スキルの基礎力アップ 5

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長 辻 伸介

音楽／エンタメ業界の仕事 2025

サウンドクリエイター
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校 16
イベント制作の仕事
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー 18

From Chief-In-Editor

原点回帰

近年、議論を呼んでいる「部活動の地域移行」という大きな波は、私たちに「そもそも部活動とは何か」という根源的な問いを突きつけています。部活動は決して学校教育における主要科目ではありませんが、本来は「知識の習得」という枠を超えて、「勉強だけが教育ではない」という視点から、生徒の全人的な成長を促すために生まれた学校教育の中の重要な課外活動であったはずです。

しかし、いつの頃からか、その本質的な教育的役割が見失われ、多くの部活動が「大会至上主義」や「勝利至上主義」という名の渦に巻き込まれてしましました。短期間での成果や勝利のみを至上のものとする指導は、確かにスポーツの競技力向上にはつながるかもしれません、それはもはや「部活動の原点」を逸脱してしまっているのではないでしょうか。部活動の価値はスコアボードの数字やトロフィーの数ではなく、活動を通して生徒たちが身につける非認知能力や社会性にあるはずです。

特に、文化部に属する「軽音楽部」は、その教育的意義を再認識する上で極めて象徴的な存在です。軽音楽部は単に既存の楽曲を演奏する「バンド部」ではありません。そこには、ゼロから1つの作品を創り上げる「無から有を産む創作力」があります。1つの楽曲、1つの演奏を、技術レベルも感性も異なる「多くの仲間と一緒に作り上げていく創作性」が求められます。

この活動を通じて、生徒たちは、自分の役割を理解し、他者の

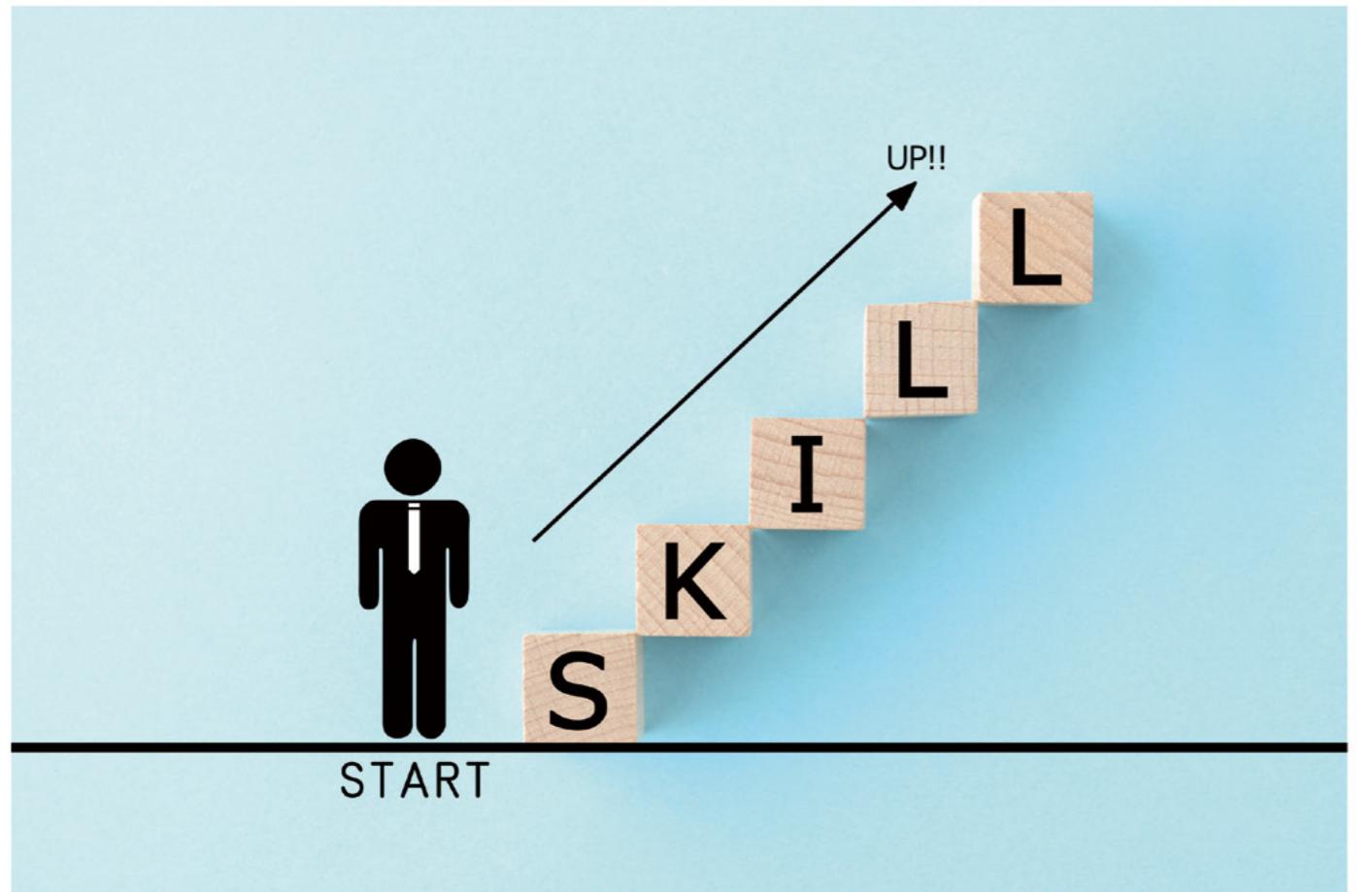
音に耳を傾け、時には意見を衝突させながらも最終的な目標に向かって協調し合う「高い協調性」を育みます。また、ライブという場で聴衆と向き合うことで、「表現力」や「自己肯定感」、そして「失敗から学び立ち直る力」といった、社会に出てからも不可欠な資質を培っていくのです。

したがって、軽音楽部における顧問に求められる資質は、演奏技術や音楽理論といった「専門分野の能力」だけでは決してありません。それ以上に問われるのは、生徒一人ひとりの個性を見抜き、彼らが自ら考え、創造し、仲間と協力し合う環境を作り出す「生徒の指導力、育成力」です。優れた演奏家であることよりも、優れた教育者であることが求められます。

部活動の地域移行が進む今、私たちは、部活動を単なる「放課後の居場所」や「競技力向上の場」として矮小化するのではなく、「学校教育における重要な教育機会」として捉え直す必要があります。大会での勝利や演奏技術の高さは結果に過ぎません。その過程で、生徒たちが何を学び、どう成長したかこそが、部活動の真の成果であり、これこそが私たちが立ち戻るべき「原点」ではないでしょうか。部活動の未来は、この原点回帰の視点にかかっていると言っても過言ではありません。

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長 三谷佳之

いつでもどこでもできる 個人スキルの基礎力アップ



個人練習には、大きく分けて二つの項目があります。楽曲のフレーズを覚えるための練習と、楽器演奏や歌うための基礎練習です。基礎練習のそのまた基礎は、「体の使い方」の鍛錬です。

スポーツと同様に、楽器の演奏や歌うことも体を使って行うことですから、当然フィジカル面の鍛錬は必要です。といっても、ウエイト・トレーニングや激しい筋トレなどをお勧めしているわけではありません。歌うため、楽器を演奏するための体の使い方を知り、どうすれば使いこなせるようになるのかを理解&実践することで、最も効果的な基礎練習となります。もちろん、すぐに結果がついてくるものではありませんが、毎日少しづつやることで必ず力になつていただけます。

各パートごとに、いつでもどこでもできる身体能力アップの自主トレーニング方法を紹介しますので、技術的な個人スキル上達のため、あるいは練習・本番前の準備運動や演奏後の整理運動として役立ててください！



文・辻 伸介

軽音楽部の革新を デジタル化で考える

るのは、ボーカルとドラムです。

軽音楽部は、学校教育の一環として生徒の成長を促す貴重な場です。しかし、この活動を持続的かつ効果的に行う上で、2つの大きな課題が常に立ちちはだかります。一つは、アンプやミキサーといった高額な音響機材の用意。そしてもう一つは、演奏に伴う学校内外への騒音問題です。特に、部活動として活動できる時間や場所の制約はこの騒音問題に起因することが多いありません。この構造的な課題を一挙に解決する鍵こそが、楽器の電気化です。

生楽器の要素を極力排除し、音の入出力をデジタル信号で制御することで、出力音量を自由にコントロールしたり、究極的にはヘッドホンを用いた「無音練習」を実現できます。音楽部活動でありますながら、周囲に迷惑をかけずに活動できる、この環境構築こそが、現代の軽音楽部に求められる革新です。

電気化の容易な楽器と残された課題

ボーカル：生声そのものは消せませんが、マイクを使用することで音声の電気化は可能です。マイクの音声をデジタルミキサーに取り込めば、他の楽器と同様に音量を制御できます。練習時は生声を抑える工夫をしつつ、電気的な音声を主体としてすることで、騒音レベルを大幅に下げられます。

ドラム：最大の騒音源であり、最も厄介な問題です。プロ・アマ問わず、ほとんどのバンドがアコースティック（生）ドラムを使用しますが、その大音量の生音は電気的な制御の範疇外にあります。このドラムこそが、軽音楽部の騒音問題を解決する上でキーポイントとなります。

レコーディング機器による上達の促進

「デジタル化の推進は、演奏環境の改善だけでなく、練習の質の向上にも大きく貢献します。ここで欠かせないのが、レコーディング機器の導入です。軽音楽におけるバンド練習において、演奏をレコーダーに録音し、その場で全員が客観的に確認し合うことは、技術とアンサンブルの上達に不可欠であり、近道で

高いのが、デジタルドラム（電子ドラム）です。デジタルドラムが持つ多くの利点は、部活動の抱える課題を具体的に解決します。

軽音問題の解決：生音が出ないため、叩くパッドの衝撃音を除けば、周囲への騒音を気にする必要がありません。全員がヘッドホンを使用すれば、ほぼ無音でのバンド練習が可能です。

教育的機能：調整された音量バランスの良さは、初心者がアンサンブルを学ぶ上で非常に

す。演奏中の感覚と、実際に録音された音源の間に、しばしば大きなギャップがあります。このギャップを埋めることが、生徒自身の課題発見能力を高めます。現代のデジタルレコーダーやポータブルミキサーは、多チャンネルの同時録音機能や、PCへのデータ転送機能など、高い利便性を備えながら比較的低価格で入手可能です。これらの機器を活用することで、練習成果を「可視化」し、「振り返り」のプロセスをシステム化できます。騒音を抑えたデジタル練習環境と、この録音・確認作業が組み合わされることで、軽音楽部の活動はより教育的で効果的なものへと進化するのです。

デジタルドラム

活動環境の改善と意識改革

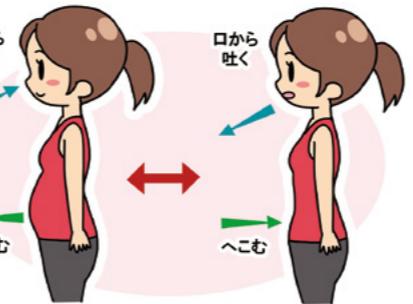
外に音が出なくなるという変化は、部活動の運営に劇的な変化をもたらします。防音対策がされていない一般教室でも練習が可能になります。同時に数バンドが練習することも夢ではなくなります。これは、練習場所の獲得に苦労する必要がなくなり、多くの生徒に平等な練習機会を提供する環境の改善に直結します。では、これほどまでにメリットがあるデジタルドラムが学校に普及しない理由は何でしょうか。それは、「生ドラムの代用品」と見做す経験者の偏見だと考えられます。ドラム経験者の私見や好みから、打感や音色の違いを理由に敬遠されるケースが多いのです。しかし、学校の部活動の機材選定においては、プロの現場での「質」の追求よりも、「量」と「環境」が優先されるべきです。周辺への騒音問題の解決、多くの生徒に提供する練習機会、そして価格の制約を総合的に考えたとき、「良い楽器を少量」用意するよりも、「それにこの品質の楽器を多くの生徒に提供する」という選択を取るべきではないでしょうか。軽音楽部のデジタル化は、騒音と長い年月の壁を取り払い、レコーディングによる質の高い練習環境をも提供することで、部活動としての活動範囲と可能性を飛躍的に広げるため、最も現実的な戦略的な一步なのです。

文・三谷佳之

ボーカリスト編

普段、実際に歌う練習をすることは難しいと思います。かといって、カラオケボックスや練習スタジオに行くのはお金もかかり面倒です。しかし、そんなボーカリストにも自宅や公園などでできる自主トレがたくさんあります。もちろん、それらは普段の部活動前やライブ本番前にも有効なものばかりです。歌う前の準備運動や喉のウォーミング・アップにぜひ取り入れてください！

腹式呼吸トレーニング



感覚を掴めるまでは寝ながらでもOK

ボーカリストが身につけるべき体の使い方の中でも、最も基礎となるのが「腹式呼吸」です。腹式呼吸でしっかりと発声ができるようになるだけで、ビックリするほど音域が広くなります。また、声にパンチが出たり音程の安定感も良くなつて、歌に表情と存在感が生まれます。特に初心者にとっては、多くのことがこの

日常生活の中では、空気を吸つた時にお嘸

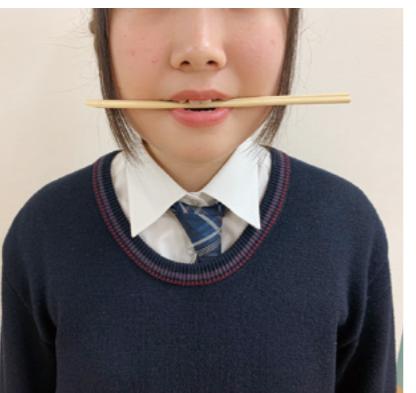
が凹み、吐いた時にお腹が膨らみます。これが専門的には「胸式呼吸」と言います。「腹式呼吸」はその逆で、空気を吸った時にお腹が膨らんで、吐いた時にお腹に手を当てることがあります。お腹に手を当てる呼吸法です。人間は、肺に吸い込んだ空気を上半身のいろいろな筋肉をポンパ代わりに使って空気を喉まで押し出し、喉で響かせて声を出します。それは、胸式呼吸も腹式呼吸も同じのですが、腹式呼吸の方がよりいたくさんの空気を吸い込んで、力強く吐き出すことができます。「そんな難しい」とできないよ」と申します。「簡単にマスターできるので、意識的にできること」をする時は誰でも必ず腹式呼吸をしてしまいます。

二十一

卷之三

体全体が温まつてきたら、次は喉を温めていきます。まずは無理のない低い声で、腹式呼吸を使ってゆっくりと発声します。そして、だんだん音程を上げながら、発声のテンポも上げていきます。メトronomeを使って、長く声を出したり短く出したり…と、4分音符や8分音符のリズムに合わせて行ってみてください。完全に喉が開いたら、一番大きな音量で声を少しだけ出してみましょう。15分くらいかけてゆっくりと体と喉に優しく行ってください。

滑舌のトレーニング



▲唇やあごは動かさずに、口蓋や舌に意識を向けよう

肺活量アップのトレーニング

まずは、滑舌が悪いと感じる歌詞をゆっくりと默読して、歌詞の内容を頭の中にしつかりと描き、意味を噛みしめます。次に、ものすごくゆっくりなテンポで、声を出さずに口を極端に大きく動かして歌います。喉、喉、あご、舌のそれぞれの筋肉がどう動いているのかを感じながら歌うことがポイントです。そして、

肺活量を鍛えるための代表的なトレーニングは「ママラン」です。近所を軽く走るぐ

A photograph of two women jogging together in a park. The woman on the left is wearing a light purple zip-up jacket and dark pants. The woman on the right is wearing a black and light blue zip-up jacket and dark pants. They are both smiling and appear to be in motion on a paved path. The background shows green trees and a clear sky.

▲無理を甘く徐々に時間と距離を長くしていくう

A close-up photograph of a person's face, focusing on the mouth and chin area. The person has light-colored hair and is wearing a dark blue ribbed sweater over a white collared shirt. Their hands are positioned near their chin, with fingers touching the skin. The background is a plain, light-colored wall.

▲慣れるまでは口の周りを軽く押さながらやってみよう

いでも十分ですが、ボクサーが試合をイメージしてトレーニングするように、できるだけステージ上をイメージしながら、スピードを上げて走ったり歩いたり…と、バランスを考えて肺活量をアップさせていきましょう。例えば、携帯音楽フレイヤーやスマートフォンなどにライブの演奏曲を入れて、それを聴きながら実際に声を出して走るのも良いでしょう。この場合、安全の確保と近所迷惑にならないために、河原などを走るのがオススメかもしれません。

マラソンは、肺活量の強化以外に、歌唱に必要な筋肉である腹筋や背筋も鍛えることができます。一日最低15分から30分のマラソンをするだけでも、肺活量とボーカリストに必要な全身の基礎体力がかなり強化されます。そして何よりも重要なのは、トレーニングを継続することです。継続こそが、効果発揮の一一番のコツです。

リップロール・トレーニング

リップロール・トレーニング

姿勢が悪くならないように背筋を伸ばそう

体を温めながら

歌う時には「喉が開いた状態」にする必要があります。しかし、歌は喉だけで歌ってい るのではなく体全体を使ってるので、声を出す前にまず体全体の筋肉の血の巡りを良くしてあげることが大切です。軽く歩いたり、ストレッチをするなど、疲れない程度に適度な運動をしてゆつくりと体を温めてあげます。

かし、歌を歌うためにはこの機能を一〇〇%使う必要があります。呼吸トレーニングができていないと、テンポの速い曲などでブレがついていかないという結果にもなってしまいます。歌うということは、かなり非日常的な呼吸運動が必要なのです。

トレーニング方法としては、まず肩が動かないように固定して、10秒くらいかけてゆっくり深く空気を吸い込みます。そして、吸った時間と同じ時間をかけて空気をゆっくりと吐き出します。リラックスして肺への空気の出し入れに集中して何度も行いましょう。慣れてきたら、次にこの「吸って吐く」という運動の時間を、10秒→20秒→40秒と長くしていきます。一般的な肺活量の人であれば、甲女問わず一分くらいまでは伸ばせるようになります。と思います。トレーニングする際は、「呼吸をするために必要な筋肉」がどこなのかを感じてください。日常の呼吸では使わない腹筋・背筋といった体中の筋肉が必要であることがよくわかると思います。

ここからが実戦的なトレーニングです。1

分かけて吸い込んだ空気の量と同じ量をイメージして、2秒程度で瞬間に吸つてください。吐く時間は長くとも構いませんが、1分かけて吐いた時の量をしっかりとイメージしましょう。さらに、吸う時間を2秒→1秒と段々と短くしていきます。この運動がちゃんとできるようになるためには、空気を吸つて吐く時に喉をしっかりと開くことが大切です。このトレーニングを30分ほど行うと汗が多くになって、体中の様々な筋肉が疲労して痛くなります。その痛くなった部分がブレスに必要な筋肉です。従って、その部分を集中的に鍛えれば、歌うために必要な筋肉を強化できるということです。すると、肺は強力なボンブへと変身し、安定したブレスができるようになります。

他にも、歌詞カードに「ブレスの位置などを細かく書き込み、それを見ながら歌うトレーニングをすると、とても効果的です。これらのトレーニングをするだけで、ブレスに安定感が生まれ、今まで歌いにくかった速いフレーズやロング・トーンなども歌いやすくなるでしょう。「呼吸上手」が「歌い上手」になると

ギターリスト編

本来は、ギターを弾く筋力を衰えさせないことが最も効果的なフィジカル・トレーニングなので、普段から毎日ギターを少なくとも10分は弾いていることが一番なのですが、ギターがなくてもできる効果的なトレーニングもたくさんあります。ギターを弾くためにはどんな筋力や神経が必要なのか、自分の弱点はどんなのか…などを知り、根本からのスキル・アップを図りましょう。

指の運動神経を鍛える

手の指をそれぞれ独立して動かすことはなかなか難しいと思います。幼少期からピアノを習っていた人などは結構動くのではないかと思いますが、普通はつられて他の指が動いてしまったりしてしまいます。これは、それぞれの指が独立して動かせるようになることが上達の近道となります。運動神経を鍛えるための「指のトレーニング」を行いましょう。少し難しいものもあるかもしれませんが、頑張って挑戦してください。

これらのトレーニングは、ギターを弾く前の準備運動としても有効なので、普段の練習やライブ本番前などにも行ってください。

■順番に机を叩く

これは、左右両方の指に効果があるトレーニングです。左手のフィンガリングや右手のアルペジオなどの奏法を極めたい人に大きな力で継続して続けられそうなものを選ぶと良いでしょう。

フィンガー・グリップを使ったトレーニングは、最大筋力を増大させるための「短時間にフルパワーで訓練する方法」と、筋力の持続時間を増加させるための「適度な負荷を一定時間与え続ける訓練」の、2パターンを行うのが効果的です。



▲指の筋肉を鍛えるアイテム、フィンガー・グリップ

コード・ワークや単音弾きで大切なのが、ピッキングする際にアップとダウンを定期的に繰り返す「オルタネイト・ピッキング」です。本来は、無意識にできていることが理想なのですが、これが意外と難しいのです。無意識にできるようになると、テンポやリズムが



▲指で机を軽く叩く感じでバタバタ

効果があります。まず、机の上に5本の指を立てる。その際、手の平が机と水平になるくらいに軽く指を曲げてください。次に指を1本ずつ、例えば人差し指→中指→薬指→小指の順に上下に動かします。他の指は机につけてそのままにして、それぞれの指先で机の上を軽く叩くイメージです。ただバタつかせるのではなく、1つひとつ確実に動かしてください。スムーズにできるようになってきたら、動かす順番を逆にしてみたり、1本ではなく2本の指を組み合わせて同時に動かしてみたり

…と、自分でバリエーションを考えてみてください。動きを複雑にすれば効果も上がります。机の上でなくでも大丈夫なので、慣れてきたらスピード・アップしてみてください。

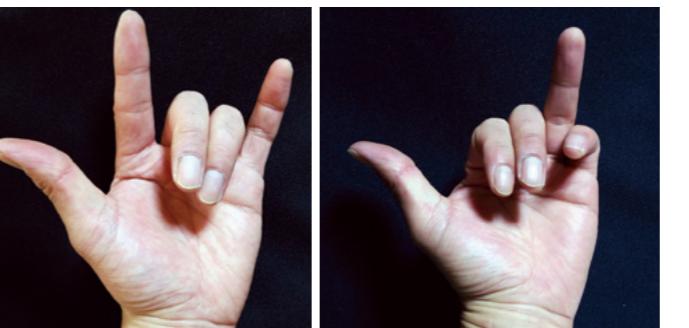
このトレーニングは両手同時に行います。まずは、両手をパーにして、人差し指→中指→薬指→小指の順に、1本と残りの3本の指を交互に曲げ伸ばしを繰り返します。これを順番に10回から20回ほど行います。

■両手同時に指を折る

このトレーニングは両手同時に行います。はじめはなかなかうまくできないと思いますが、ゆっくりと地道に行なってください。

次に、中指＆薬指と人差し指＆小指・人差し指＆中指＆薬指と小指・人差し指＆薬指と中指＆小指…というように、2本の指をセットにして交互に曲げ伸ばしを行いましょう。

トとして交互に曲げ伸ばしを行いましょう。はじめはなかなかうまくできないと思いますが、ゆっくりと地道に行なってください。



▲1本指よりも難しいので、できる範囲で挑戦しよう

▲曲げる指と伸ばす指をできる限り分ける



▲回す指以外はしっかりと指を合わせておく

グリップする指の筋力をつける

最初はなかなかうまくいかないと思いますが、そこでダメだと思わずに、少しずつ地道に続けていきましょう。体が覚えてくれば、実際にギターを弾く時やバンド練習の時でも、リズムを感じながらギターを弾くことが徐々にスムーズになってくると思います。

■指回し

左右の指の先を合わせて、それぞれの指をグルグルと回転させます。これは、脳の活性化にも効果があると言われていて、特に普段独立して細かい動きをしない薬指や小指の動きをスムーズにするためには最適な運動です。

まずは、人差し指→中指→薬指→小指の順に、時計回りと反時計回りを最初は各20回くらいを自安に回してみてください。スムーズに素早く回せるようになつたら、回数を増やしていくましょう。回していない他の指が離れないようにゆっくりと回して、徐々にスピードを上げていってください。



▲ドラマーの叩くスネアを意識してリズムを取る



▲いつでも合奏をしているつもりでリズムを感じる

…と、自分でバリエーションを考えてみてください。動きを複雑にすれば効果も上がりま

す。机の上でなくでも大丈夫なので、慣れて

きたらスピード・アップしてみてください。

このトレーニングは両手同時に行います。

まずは、人差し指→中指→薬指→小指の順

に、時計回りと反時計回りを最初は各20回く

らいを自安に回してみてください。スムーズ

に素早く回せるようになつたら、回数を増や

していくましょう。回していない他の指が離

れないようにゆっくりと回して、徐々にスピー

ドを上げていってください。

このトレーニングは両手同時に行います。

まずは、人差し指→中指→薬指→小指の順

に、時計回りと反時計回りを最初は各20回く

らいを自安に回してみてください。スムーズ

に素早く回せるようになつたら、回数を増や

していくましょう。回していない他の指が離

れないようにゆっくりと回して、徐々にスピー

</div



It all begins here!



日本工学院 ミュージックカレッジ
日本工学院専門学校 **日本工学院八王子専門学校**

0120-123-351 144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22

0120-444-700 192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

<https://www.neec.ac.jp/>

@nihonkougakuin

@neec_official

@nihonkogakuin

@nihonkogakuin_official



日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校

相手の要求を汲み取れる力が大切です

音楽やエンターテイメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょうか。今回はサウンドクリエイターの仕事について、日本工学院専門学校のミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコースの下條先生に伺いました。

— サウンドクリエイターの仕事について教えてください

下條：ポップスの曲を作ったり、アーティストに楽曲を提供したり、一方では、ゲームの音楽を作ったり、テレビやニュースのBGMを制作するなど、端的に言うと「音楽(音)を作る仕事」です。ユニークなところでは、映画やテレビ番組などに臨場感を与える「フォーリーサウンド(効果音)」を作ることもサウンドクリエイターが手がけており、例えば、刀が「カキン、カキン」と鳴っているイメージに近い音を作るのも仕事の1つです。

— 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

下條：専門学校では、基礎的なところから学校のカリキュラムで指導を行うので、楽器の演奏やパソコンでの音楽制作が未経験でも、まったく問題なく進められるような環境を整えています。高校生のうちからやっておいた方が良いのは「たくさんの音楽を聞く」ということでしょうか。なぜかと言うと、人間は見たり、聞いたりしたものからしか、アウトプットができないんですね。今まで聴いてきた楽曲や音楽ジャンルが元となり、多種多様なメロディーやコード進行、アレンジなどを生み出すことができると思うので、ぜひ選り好みをせずに、いろいろな音楽を聞いておくことをオススメします。

また、これは教員として私のポリシーでも

あるのですが、本当に良い作品やアレンジしか認めないようにしています。何でもおだてて、褒めてしまうと、それ以上の能力を引き出せなくなってしまうと考えており、あえて厳しい目で評価し、本当に「良いな！」と思ったものしか褒めないように心がけています。それに、言われた側の本人も、場合によっては100%納

得していないものの、作品を提出した…ということがあると思います。それなのに「良いね！」と言われてしまうと、あまり良い気持ちがせず、不完全燃焼に終わってしまうと思うので、学生とはシビアに向き合っています。

— この仕事の楽しいところや、やりがいを教えてください

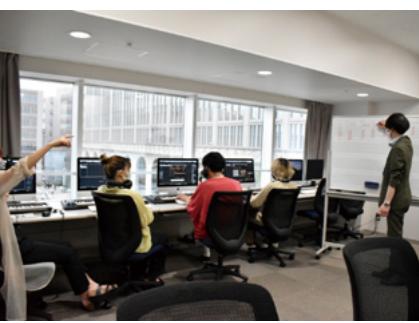
下條：仕事の大半を一人で行うものなので、どうしても大変に感じたり、しんどくなってしまうことがあります。ですが、そういう思いをしながら作ったが曲がリリースされ、いろいろな人たちが聴いてくれたり、「良かったよ！」といつた感想が聞けた時はホッとした気持ちになり、「作って良かったな…」という風に、やりがいを感じます。

— この仕事の大変なところを教えてください

下條：作業自体は一人で行うのですが、その先には依頼者である「クライアント」がいます。その方々と一緒に仕事を進めていく中で、相手は音楽や楽曲制作の知識や経験が豊富なわけではないので、先方からの要求や難題を噛み砕いて、最大限に良い結果を出せるようにしなくてはいけない部分が大変に感じます。このボタンを掛け違えていると、出来上がった結果が望みのものではなかった…となり、残念な結果に終わってしまうので、相手の要求を汲み取る姿勢が大切です。

— サウンドクリエイターとして、仕事をするために大切な要素は何でしょうか

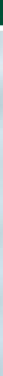
下條：1つ目は「向上心」だと思います。音楽はファッションと同じで、日々進化を続けており、どんどんシーンが変わっていくものなので、そういった部分にしっかりとアンテナを向



▲ DAWソフトを駆使し、楽曲やBGM、効果音を作ります

東京・名古屋・大阪・福岡から世界へ!

エンタメ&クリエイティブの専門学校



大学も専門学校も超える新たな学びの場

専門学校 東京ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 東京ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 大阪ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 ビジュアルアーツ専門学校より校名変更)

専門学校 名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 名古屋ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 福岡ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 九州ビジュアルアーツより校名変更)

21世紀アカデメイア
Akademeia 21st Century

音楽／エンタメ業界の仕事 2025

イベント
制作
の仕事



お客様が安全に参加 できる場を提供します

音楽やエンターテイメントに関する職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょうか。今回はイベント制作にまつわる仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツ／マスコミ出版・芸能学科 企画・制作コースの峯岸先生に伺いました。

ていると思います。また、1つの場所で同じ仕事を続けるのではなく、相手が必要としているものを感じ取り、足りないところをケアして、補っていく…ということにやりがいを感じる人にオススメです。イベントというのは開催する場所が違えば、会場の規模や来場者のタイプも違うなど、1つとして同じ現場はありません。そんな状況でも順応することができ、準備の段階から各セクションの人たちとコミュニケーションを密に取り、その場を盛り上げていくのが好きな方には、オススメです。

— この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか。3つほど教えてください

峯岸：楽しく感じる場面は多々あるのですが、例えば、コンサートが始まると、お客様が盛り上がっているシーンを目にして、「やって良かったな…」と強く感じます。お客様を集めることによって、アーティストからも感謝をされ、「またやりたいね！」と言ってもらいます。そういった絆が生まれるのはスタッフとして携わっているからだと思います。アーティストをはじめ、音響さんも照明さんも、私たちイベントスタッフも、全員がチームみたいな感じなんですね。

— この仕事の大変なところを教えてください

峯岸：自分のペースで仕事を進めるのではなく、たくさんの人たちとコミュニケーションを取る必要があるので、時には仕事が夜遅くまでかかってしまったり、予定していたスケジュールが伸びてしまうことがあります。また、アーティストやスタッフの宿泊先を手配したり、○時○分の新幹線のチケットを○枚予約する…など、細かい部分のケアが必要な場面があるので、大変に感じてしまうかもしれません。

— この仕事は、どんな人にオススメですか？

峯岸：人に喜んでもらうことが好きな人に向い



▲スタッフと連携し、イベントをスムーズに進行します

ミュージシャン
声優・俳優・タレント
ダンス・ダンスボーカル
ネットタレント・インフルエンサー
映像クリエイター(3DCG・VFX)
テレビ放送・映画スタッフ
コンサート・舞台スタッフ
レコーディングエンジニア
サウンドクリエイター
映像音響(MAエンジニア)
写真・デザイン
マスコミ出版
芸能マネージャー
特殊メイク

※地区によって教育分野が異なります

— イベント制作にまつわる仕事全般について教えてください

峯岸：軽音楽部の皆さんにとっては「イベント」と聞くと、ライブやコンサートが最もイメージしやすいと思います。それに加えて、もっと大きな視点でイベントについて考えてみると、企業の展示会をはじめ、お芝居もそうですし、フードフェスなど大きな会場を借りて、お店やブースを出展し、たくさんの人たちに来てもらう…というのが、イベントに当たります。ですので、人が集まる会場を作ったり、整理・誘導をするなど、来場者が安全に往来できる場所を提供する…というのが、イベント制作の大きな仕事になります。

いろいろな人たちが関わっており、例えば、コンサートの場合はアーティストのマネージャーさんがイベントを企画し、会場やチケットを手配したり、プロモーション活動をするほか、「コンサート・プロモーター」と言って、それらの業務を専門に行う会社もあります。マネージャーさん、コンサートを宣伝する人、会場を作り上げる人、音響や照明を担当する人…など、それぞれに専門の会社があり、そこで働いている人たちが協力して、1つのイベントを作り上げている…という構図です。

本校の卒業生はマネージャーの道に進む人が多い傾向にあります。その次はステージを作る道具の会社でしょうか…。他にも、ファンの人たちに向けたイベントを企画したり、ファンクラブの運営全般を行う会社に就職する卒業生もいます。

— 高校時代にやっておいた方が良いことがありますか

峯岸：何かのイベントに参加したり、好きなものが展示されている場所に足を運んでみて、「ど